

テーマ：地区にふさわしい広告物のルールを考えよう！（高尾山参道周辺地区の魅力が高めるための、広告物のルールを考える）

work：景観づくりの目的を共有し、ルールを検討しよう 内容：高尾山参道周辺地区の景観づくりの目的とテーマを確認し、目的とテーマに近づくための広告物のルールを検討する

景観づくりの目的

- 高尾山参道周辺地区の魅力が高める

景観づくりのテーマ(案)

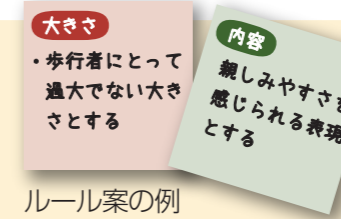
- 高尾の歴史文化を伝える
- 観光客へのもてなしの心を表す
- 夜間景観を意識する
- 高尾山の自然を大切にする
- 回遊性を高める

目的やテーマは、これまでのワークショップ(平成30年10月、平成30年12月開催)でのご意見を元に市が仮に設定したものです。

ワークショップでのご意見を元にしたルール案について、八王子市屋外広告物条例で規制した方がよいものに●、ガイドラインで誘導した方がよいものに○のシールを貼りルールを検討しました。

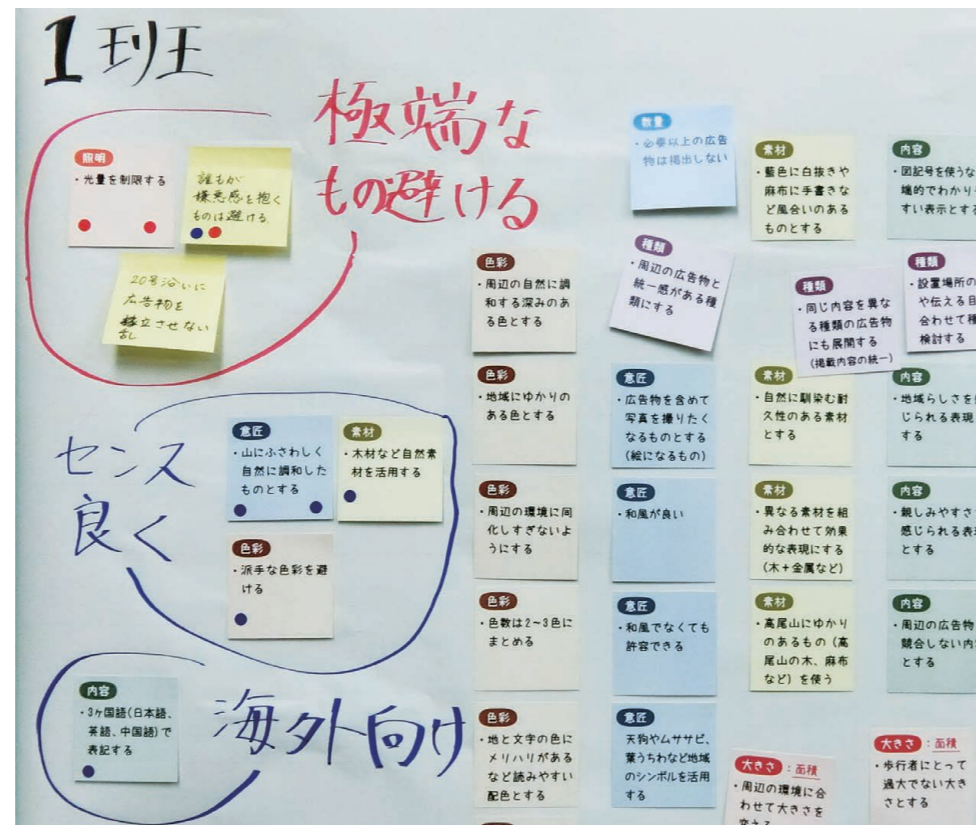
高尾山参道周辺地区にふさわしい広告物とするための広告物のルールの方向性

- 規制する広告物は極端なもの(大きなもの・派手なもの・照明が明るいものなど)に絞る。
- 高尾山参道周辺地区内でも、甲州街道沿いと参道沿いなど、場所の性質に合わせてルールの内容を変えた方がよい。
- 色彩や意匠(和風など)には解釈や表現に幅がある。より地区にふさわしい広告物が掲出されるよう、規制しない事柄について、ガイドラインで丁寧に誘導できると良い。



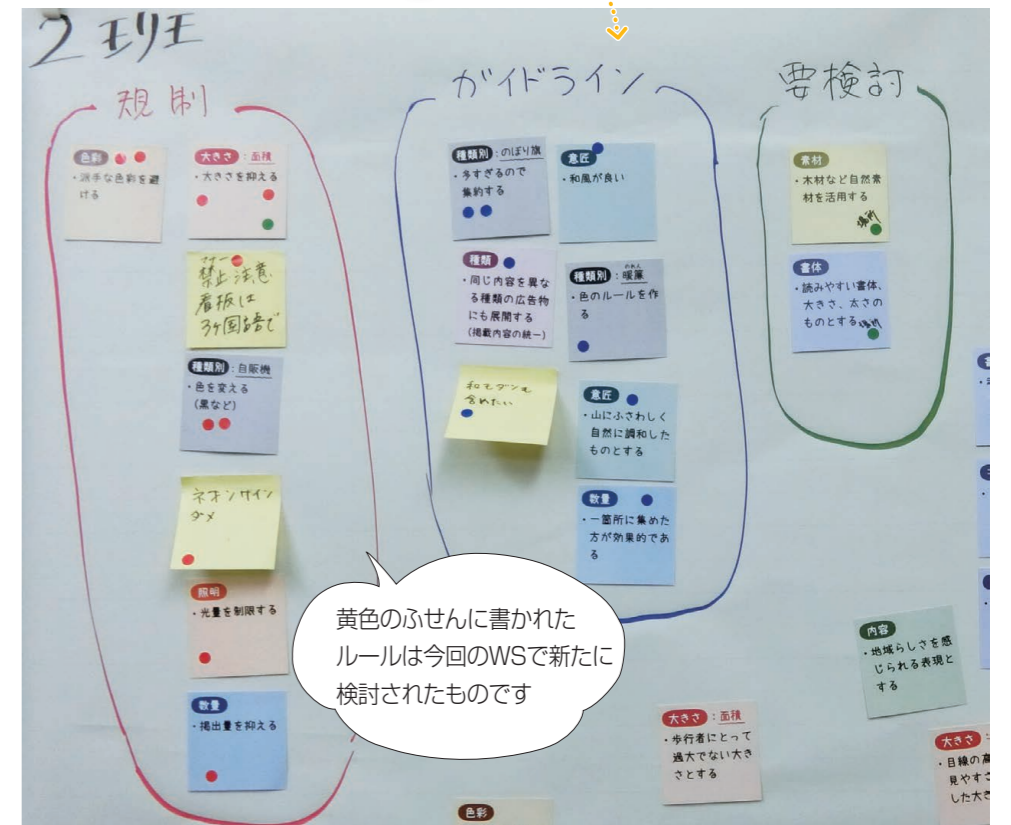
1班の意見の概要

- 広告物は極端なものを規制する。
- 地域の連携や土地の特性により、これまでも広告物が抑制されている。
- センスの良い広告物となるよう、素材や色彩、デザインを、ガイドラインで誘導する。
- 海外からの観光客が増えており、それに対応した3ヶ国語の表記とする。



2班の意見の概要

- 規模や色彩、光などについて規制する。
- デザインや書体は、時代によって嗜好が変化するため、強い規制は設けない。
- ガイドラインでは、地域にふさわしいデザインを推奨する。
- ルールの内容や必要性が場所によって(甲州街道と参道など)変わるものは、要検討としている。



黄色のふせんにかかれたルールは今回のWSで新たに検討されたものです

広告物のルール検討のまとめ ※太字は両班共通の意見です。

|     | 八王子市屋外広告物条例で規制するもの                                   | ガイドラインで誘導するもの   |
|-----|--|---|
| 大きさ | • 大きさを抑える  |   |
| 数量  | • 掲出量を抑える<br>• 甲州街道沿いに広告物を乱立させない                     | • 一箇所に集約する  |
| 色彩  | • 派手な色彩を避ける  | • センスの良い色使いとする  |
| 意匠  |  | • 山にふさわしく自然に調和したものとする <b>両班共通</b><br>• 和風を基本とし、和モダンのデザインも可とする |
| 素材  |  | • 参道では、木材など自然素材を活用する <b>両班共通</b>                              |
| 内容  | • 誰もが嫌悪感を抱くものは避ける<br>• 禁止・注意看板は3ヶ国語(日本語・英語・中国語)で表記する | • 3ヶ国語(日本語・英語・中国語)で表記する<br>• 同じ内容を異なる種類の広告物にも展開する(掲載内容の統一)    |
| 書体  |  | • 参道や街道沿いなど、立地場所に応じた読みやすい書体、大きさ、太さとする                         |
| 照明  | • 光量を制限する<br>• ネオンサインは避ける <b>両班共通</b>                |   |
| 種類別 | • 自販機: 色を変える   | • のぼり旗: 集約する<br>• 暖簾: 色のルールを作る                                |

明らかに地域にそぐわない極端な広告物を条例に基づいて制限

店や街並みの印象をさらに高めるために素材や色彩、デザインなどのアイデアを紹介